

品川区保護司会

～ 荏原東分区 ～

ハローインフォメーション

第 36 号



発行者 品川区保護司会荏原東分区

分区長 伊藤 雅志

令和5年度を振り返り

荏原東分区分区長 伊藤雅志

荏原東分区の皆様には、分区活動や運営へご尽力いただき誠にありがとうございます。
井上さんより分区長の大任を引き継ぎましたが、不勉強・不慣れと皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

令和5年度は、6名の保護司が退任されました。

令和5年4月 深津 範子さん

5月 高村 幸弘さん

9月 太田 明さん 田中 元雄さん 松澤 利行さん

令和6年1月 長田 豊幸さん

退任されました皆様の更生保護活動に感謝申し上げますとともに、今後とも後輩保護司へのご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

また、2名が保護司に任命されました。

令和6年2月 小山 ふみ子さん 松澤 和昌さん

東分区は、まだまだ保護司の数が充足していないと感じています。皆様には、ぜひ保護司適任者をご紹介いただきたく宜しく願い申し上げます。

本年度は、コロナウィルス感染症が5類へ変更となり、様々な活動をすることができました。宿泊を伴う矯正施設見学研修も4年ぶりに宮城県仙台市の青葉女子学園の見学研修を実施できました。東北方面は、10年ぶりで、女子少年院という数少ない施設を見学し、学園長に現在の少年少女を取り巻く環境をお話しいただき大変有意義な時間を過ごすことができました。ご協力いただきました方々へお礼申し上げます。スケジュールが合わず今回参加できなかった皆様、来年度は、参加できるように準備を進めますので、参加の程宜しく願い申し上げます。

今後とも保護司の皆様には、更生保護活動宜しく願い申し上げます。



* 令和5年度に退任されました先輩にご寄稿いただきました。

令和5年5月

保護司を終えて

特例保護司期間満了 高村 幸弘

東分区の方々には長い間大変お世話になりありがとうございました。
思い起こせば多くの先輩方にご指導いただき、保護司の活動をしてまいりましたが、未だに対象者に言ってきたことが正しかったかどうか判断出来ないでいます。しかし対象者であった方からその後の生活を報告に立ち寄ってくれた時、互いに笑顔になり「ホッ、と」したことを思い出すことがあります。

令和5年9月

保護司36年を終えて

特例保護司期間満了 太田 明

昭和62年9月に嘱託され、令和4年9月に退任するまでの36年間、いろいろなことがありました。
おかげさまで、多くの対象者との間で、困ったことはありませんでした。お互いに良い関係で保護観察期間を無事に勤めることができました。それは相手のことを思い、助かってもらえるように、たえず祈る気持ちを大切にしていたからだったと思っています。私は、幸運だったのかもしれませんが、今、どんな人生を歩んでいるかわかりませんが、更生して頑張っている事を信じたいですね。

令和5年9月

特例保護司期間満了 田中 元雄

心の底から分かち合うという深さを味わうことができました。まさに人生を共有する感じで、人生を深く、拡がりをもって見つめることができました。人生の共有ということ言えば、保護司同志の深め合いも半端なものではなく、研修を通じて得たものも人生の道場と言ってもよい貴重なものでした。

具体的に話せばキリがないですが、その中身たるや数十年に及ぶのですから貴重な年月でありました。

感謝のみであります。ありがとうございました。

令和5年9月

囲碁と将棋

特例保護司期間満了 松澤 利行

囲碁との出会いは、慶応義塾大学囲碁部から始まります。

日本棋院からアマチュア八段の免許を受け、品川区アマチュア囲碁連盟理事長として春秋の囲碁大会 6月のコドキフェスタを開催し、各種大会の世話や、小学校のスマイルの子供たちに囲碁の楽しさを教えています。

このほど75歳となり保護司をはじめ各種の公職から引退をいたしました。ポツカリとあいた時間を埋めるため今度は将棋を始めました。中小企業センターに毎日のように通い仲間と入段を目指して頑張っています。

保護司の皆様には大変お世話になり民間人として子供たちの健全育成や更生活動に少しでもお手伝いができるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

「 感謝 」

令和 6 年 2 月 保護司期間満了

長田 豊幸

荏原東分区の皆さんありがとうございました。

12 年前、原克己・浦功両先輩から、突然保護司にならないかとお誘いを受け、保護司とは、何なのかも知らず、私に務まるのか不安のまま、何となく受けてしまいました。

大きな問題もなく、無事退任できたのも分区の皆さんのおかげと、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

2015 年 7 月 29 日 日帰り研修



東京拘置所



柴又帝釈天に於いて

長い間、ありがとうございました。

井上 耕一

今回、特例保護司(高村幸弘さん・太田明さん・田中元雄さん・松澤利行さん)

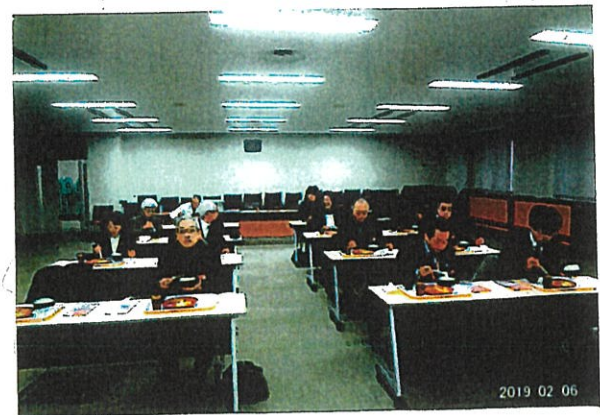
そして、長田豊幸さんも退任されます。

いろいろとご指導をいただき分区活動を盛り上げていただきました。

分区の定例会・ひがし会と研修の機会を数多く作っていただき事例検討でも多くのことを学ばせていただきました。

また、研修旅行では、いろいろな話を伺い交流を深めることができました。

日帰り研修施設(府中刑務所・東京拘置所・八街少年院・甲府刑務所・横浜刑務所・更生保護法人「紫翠苑」など)・宿泊研修施設(榛名女子学園・新潟刑務所・福島刑務所・岐阜刑務所・岡崎医療刑務所・広島刑務所・京都刑務所・喜連川社会復帰センター・静岡刑務所など)を通じ、特に印象深いのが、夕食後に一部屋に集まり車座でお酒を飲みながら話を伺うことが出来たことが楽しい思い出です。貴重な時間を共有させていただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



2019年(平成31年)2月6日

この写真は、喜連川社会復帰センターに於いて試食の様子です。

本道秀夫さんを偲んで

上村 きみ子

3月初旬に松澤利行さんから本道秀夫さんが2月に亡くなられたとのお知らせを頂き、驚くとともに悲しく信じられない思いでいっぱいになりました。

昨年8月、体調が弱られた本道さんを案じた息子さんが千葉の施設にと考えられました。ご本人は気が進まぬ様子と伺っていたので、引っ越しの朝、日常の挨拶だけでお見送りをしました。

翌朝携帯に連絡を入れましたがつながらず、新しい環境に慣れていただく為のことと理解しましたが、淋しく辛い気持ちになりました。折に触れてお元気にお過ごしを願っておりましたので残念でなりません。

本道さんは、平成23年から31年まで分区長を務めてくださいました。「和をもって貴しとなす」をモットーに分区全員が和やかに活動に参加できるよう務めていらっしゃいました。

大井町の老舗「阿波屋」さんの三男さんで大事に可愛がられて育ったというのが一目でわかる方でした。人に気を使い、場を盛り上げ、何事にも一所懸命でした。

私は荏原第五地区青少年対策地区委員としてご一緒に活動していたという経緯から、本道さんのご推薦で保護司にならせていただきました。その翌年から広報部長、研修部長、会計部長と分不相応なお役をいただきましたが、全て本道さんにご指導いただき、そして全て助けていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

ご存命でしたらコロナ明けで活発になってきた保護司会の活動に、沢山のご助言をいただけるのにと残念な思いです。東分区にとって大切な方でした。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



品川区保護司会荏原東分区 平成29年9月1日 於 比叡山延暦寺

前列真中が本道さんです。

京都刑務所施設見学研修後に
福田さんの案内により比叡山延暦寺を
見学しました。

*令和6年2月より荏原東分区の仲間になりました。一緒に頑張りましょう。

保護司挨拶文

松澤 和昌

この度、保護司をお引き受けすることになりました荏原東分区松澤和昌と申します。

思えば、私自身も精神的に弱い時期を経験し、仲間の何人かは保護司の方にお世話になった子もいました。

犯罪を犯してしまうラインと言うのはとても微妙で、誰もが踏み外してしまう可能性を秘めております。その時に、思い踏みとどまれるきっかけ。私の場合は「家族」であり当時始めた「児童センターのボランティア活動」でした。頼れる喜び、頼られる喜び、ボランティア活動を通して繋がりを持てたおかげさまで、今の自分があります。

その経験を活かし再び罪を犯すことのないよう、その人の「人となり」「背景にある課題」に寄り添い私なりに人と人を繋げる奉仕活動をさせていただきたいと思っております。

保護司

小山 ふみ子

随分と前の話だが、ある人が私に囁いた。

「誘われても保護司にだけは手を出しちゃダメだよ」「何故？」と、いう私の問いにその人は、「大変だよ。時間も労力も全てすり減らして」と、まだまだ足の先っぼだけ入ったけど、これからどんなことがあるのやら。楽しみやら、怖いやら。気負わず、誠意をもって臨みたい。

研修部の活動

中村 國雄

本年度は、コロナの影響も沈静化し各行事を予定通りに実施することが出来ました。
 分区においては、東西合同研修と致しまして荏原警察署生活安全課少年第一係長 八巻真人警部補、組織犯罪対策課、組織犯罪対策係長 下村 秋平警部補を講師に招いて「荏原警察管内における中学生～大学生の薬物使用の現状」について学びました。



矯正施設宿泊研修といたしまして、宮城県青葉女子学園（女子少年院）で実施させていただきました。寒さも少し残ってはありましたが、有意義な研修になりました。施設では、職員 28 名に対対象者が 8 名と十分な環境のなかで、適正に矯正されていると思えました。多いときは定員数より多くの対象者がいたそうですが、犯罪件数が少なくなっていることは犯罪防止活動が実っていることだと思います。

研修終了後、学園長の計らいにより、隣接する宮城刑務所の作業売店に立ち寄り展示品を拝見し、購入することが出来ました。

今後の活動と致しまして、保護司は研修に参加することが義務の一つであり研修参加をお願いいたします。

令和 5 年度 研修出欠状況												
分区名	第Ⅰ期定例研修			第Ⅱ期定例研修			第Ⅲ期定例研修			第Ⅰ回自主研修		
	出	欠	出席率%	出	欠	出席率%	出	欠	出席率%	出	欠	出席率%
品川分区	10	11	47.6	10	11	47.6	13	11	54.2	10	11	47.6
大崎分区	7	7	50.0	8	6	57.1	5	10	33.3	7	7	50.0
大井分区	10	8	55.6	9	9	50.0	10	8	55.6	5	13	27.8
荏原東分区	11	2	84.6	8	5	61.5	10	5	66.7	8	5	61.5
荏原西分区	19	6	76.0	19	7	73.1	20	6	76.9	15	10	60.0
品川区全体	57	34	62.6	54	38	58.7	58	40	59.2	45	46	49.5

更生保護女性会施設参観

金子 みゆき

2月20日は大変暖かく、とても良い施設参観日和でした。

私は初めての刑務所参観でしたので、期待と不安を胸に当日を迎えました。

当日の参観場所の「前橋刑務所」は「網走刑務所」と並び、日本で二か所のレンガ造りの塀の刑務所と教えていただきました。

アーチ型の門の中へ入り、一番最後の方が入り終わると、`ガチャ`と鍵を掛ける音が聞こえ何か緊張が走りました。建物の二階に案内され、所長さんから説明を受け、その後2組に分かれて所内を見学させていただきました。

受刑者が作業をしている作業所、集団室、校庭などを回りました。再犯者も多いと聞き、残念です。

帰りには、作業所で作られた売店へ行き、買物をしましたが、道路の反対側に見える高いレンガ塀を見ると、やはり切なくなりました。

今回の施設参観にお力になってくださった研修部長さん、副部長さん、本当にありがとうございました。



～ 編集後記 ～

今年度のハローインフォメーション発行にあたり
退任された先輩方に、「感謝の気持ちを伝えたい」
をテーマにご寄稿をお願いいたしました。
皆様のご協力により、今年度も無事に発行することが
出来ました。
心より感謝申し上げます。

令和6年3月吉日

編集責任者 総務部長 井上 耕一